



## stcli datastore コマンド

- [stcli datastore コマンド](#) (1 ページ)
- [stcli datastore create コマンド](#) (2 ページ)
- [stcli datastore delete コマンド](#) (2 ページ)
- [stcli datastore info コマンド](#) (3 ページ)
- [stcli datastore list コマンド](#) (3 ページ)
- [stcli datastore mount コマンド](#) (4 ページ)
- [stcli datastore unmount コマンド](#) (4 ページ)
- [stcli datastore update コマンド](#) (4 ページ)

## stcli datastore コマンド

ストレージクラス データストアの操作。

```
stcli datastore [-h] {list | create | info | update | delete | mount | unmount}
```

### 構文の説明

オプション	必須またはオプション	説明
<b>create</b>	セットのいずれかが必要。	指定された名前とサイズでストレージクラス データストアを作成します。
<b>delete</b>	セットのいずれかが必要。	ストレージクラス データストアを削除します。
<b>info</b>	セットのいずれかが必要。	指定されたストレージクラス データストアに関する情報を提供します。
<b>list</b>	セットのいずれかが必要。	ストレージクラス データストアをリストします。
<b>mount</b>	セットのいずれかが必要。	ストレージクラス データストアをマウントします。

オプション	必須またはオプション	説明
<b>unmount</b>	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタ データストアをアンマウントします。
<b>update</b>	セットのいずれかが必要。	ストレージクラスタ データストアの名前やサイズを更新します。

**コマンド デフォルト** なし。セット内の 1 つのオプションが必要。

**使用上のガイドライン** stcli datastore コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

## stcli datastore create コマンド

指定された名前とサイズでストレージクラスタ データストアを作成します。

```
stcli datastore create [-h] --name NAME --size SIZE [--unit {kb | mb | gb | tb}] [--blocksize {8k,4k}]
```

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	<b>--blocksize</b>	オプション。	格納されるデータのブロック サイズ。すべてのデータストアでデフォルトは 8K です。VDI ワークロードでは、4K がデフォルトです。
	<b>--name NAME</b>	必須です。	ストレージクラスタ データストアの名前。
	<b>--size SIZE</b>	必須です。	ストレージクラスタ データストアのサイズ。
	<b>--unit {kb,mb,gb,tb}</b>	オプション。	サイズの単位。デフォルトは GB です。

**コマンド デフォルト** ID または NAME を指定する必要があります。デフォルトの測定単位は GB です。デフォルトのブロック サイズは 8K です。

**使用上のガイドライン** stcli datastore create コマンドでは、必須のパラメータを両方とも指定するほか、必要に応じてパラメータを任意に指定できます。

## stcli datastore delete コマンド

ストレージクラスタ データストアを削除します。

```
stcli datastore delete [-h] [--id ID | --name NAME]
```

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	<b>--id ID</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの ID。
	<b>--name NAME</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの名前。
コマンドデフォルト	なし。セット内の 1 つのオプションが必要。		
使用上のガイドライン	stcli datastore delete コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。		

## stcli datastore info コマンド

指定されたストレージクラスタ データストアに関する情報を提供します。

**stcli datastore info [-h] [--id ID | --name NAME]**

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	<b>--id ID</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの ID。
	<b>--name NAME</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの名前。
コマンドデフォルト	なし。セット内の 1 つのオプションが必要。		
使用上のガイドライン	stcli datastore info コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。		

## stcli datastore list コマンド

ストレージクラスタ データストアをリストします。

**stcli datastore list [-h]**

コマンドデフォルト	指定できるオプションはありません。		
使用上のガイドライン	stcli datastore list コマンドを実行し、[] で囲まれた引数を任意に追加できます。		

## stcli datastore mount コマンド

ストレージ クラスタ データストアをマウントします。

```
stcli datastore [-h] [--id ID | --name NAME]
```

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	<b>--id ID</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの ID。
	<b>--name NAME</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの名前。
コマンド デフォルト	なし。セット内の 1 つのオプションが必要。		
使用上のガイドライン	stcli datastore mount コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。		

## stcli datastore unmount コマンド

ストレージ クラスタ データストアをアンマウントします。

```
stcli datastore unmount [-h] [--id ID | --name NAME]
```

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	<b>--id ID</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの ID。
	<b>--name NAME</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの名前。
コマンド デフォルト	なし。セット内の 1 つのオプションが必要。		
使用上のガイドライン	stcli datastore unmount コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。		

## stcli datastore update コマンド

ストレージ クラスタ データストアの名前やサイズを更新します。

```
stcli datastore update [-h] [--id ID | --name NAME] [--newname NEWNAME] [--size SIZE] [--unit {kb | mb | gb | tb}]
```

## 構文の説明

オプション	必須またはオプション	説明
<b>--id ID</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの ID。
<b>--name NAME</b>	セットのいずれかが必要。	データストアの名前。
<b>--name NAME</b>	オプション。	ストレージ クラスタ データストアの新しい名前。
<b>--size SIZE</b>	オプション。	ストレージ クラスタ データストアの新しいサイズ。
<b>--unit {kb,mb,gb,tb}</b>	オプション。	サイズの単位。デフォルトは GB です。

## コマンド デフォルト

なし。セット内の 1 つのオプションが必要。デフォルトの単位は GB です。

## 使用上のガイドライン

stcli datastore update コマンドでは、必須のパラメータを指定し、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

